



日本内分泌学会 男女共同参画推進委員会 (JES We Can) 九州支部のご紹介

<紹介>

九州支部設立当初は佐藤薫先生が代表を務められ福岡大学の柳瀬敏彦先生のサポートの元、明比先生(福岡大学)と共に支部の中心となって活動を支えてこられました。その後2018年より明比先生に支部長が交替となり3年間支部活動をまとめてこられました。勤務先変更に伴い今年度より三宅(戸畑共立病院)が引き継ぐこととなりました。頼りになる明比先生が四国支部へと異動になった事で心細さと寂しさを感じますが、新たな支部でも今後ご活躍されることと存じます。

委員の構成は、(五十音順・敬称略)馬越真希(九州大学)、佐藤薫(門司掖済会病院)松田やよい(九州大学)的場ゆか(国立病院機構 小倉医療センター)、山本幸代(産業医科大学)、と来年の大会長である大分大学の柴田洋孝教授となっており、女性研究者応援小委員会は伊達紫(宮崎大学)花田礼子(大分大学)増山律子(長崎大学)の3名先生方で構成されていましたが、増山先生は立命館大学へ所属が変更になり近畿支部へ異動となりました。近畿支部でも力強い戦力になることと思われまます。

<活動内容>

九州支部の例年の活動としては、九州地方会における企画として JES We Can 賞(優秀論文賞)を制定し基本2名を毎年選出しています。JES We Can 賞の発案、制定にあたっては初代支部長の佐藤薫先生が尽力されました。当初の地方会での企画は講演中心であり、佐藤先生が毎年講師推薦にご苦労されておりました。講演内容、講師ともに多岐にわたり充分興味深いものでしたが、①聴講する(受け身)だけではいけない②たとえ1例でも貴重な症例を経験したら学会発表だけで終わるのではなく、そこから文字にして論文として残すことが大切。③論文を書く動機づけ、かつ、キャリアアップにつながる企画が望ましい。との熱い信念で取り組まれました。企画の開始当初は応募数が少ない時もありましたが、その JES We Can 賞も2021年で第6回目となり毎年応募数が増えてきて地方会の企画として定着しつつあります。優秀論文を選定するにあたり6名から成る選考委員会も設け、選考委員長は産業医科大学の山本幸代先生が務めて下さっています。

2022年度の内分泌総会は大分大学の柴田洋孝先生の大会長の元で開催されます。そのため総会での JES We Can 企画を九州支部が担当することとなり現在支部で準備しています。

皆でアイデアを出し合い、若い先生方の意見を中心に取り入れ、学会員の先生方に興味を持っていただける企画にしたいと思います。

